

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Basic Style for Study IV		1	0004-01	2期(後学期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	修学する専門領域を理解し、学習目標の設定と達成のための計画を設計し、自己実現に向かって積極的に行動する態度を身につけることができる。入学後の修学・生活を自省し、以後の修学意欲を高め、キャリアデザインを形成することができる。学習や生活に取り組む態度と方法の重要性を「キャリアポートフォリオ」「修学ポートフォリオ」「達成度自己評価ポートフォリオ」の作成や自己管理と共同の実践を通して認識し、自己実現に向かって、積極的かつ実践的な行動を継続することができる。							
2	キャリアデザイン								
3	日本語表現力								
4	1年間の評価と目標設定								
5	個人面談								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 毎日「1週間の行動履歴」を記録し、学期末に「後学期の達成度自己評価」「1年間の達成度自己評価」を作成して、KITポートフォリオ(web上)に入力することにより、自己管理を身につける。</p> <p>2. 自己開発センター特別講義により、自己のキャリアデザインにそくした自学自習のあり方を考える。</p> <p>3. キャリアデザインシートを作成(web上)することにより、自己の過去、現在の分析から、キャリア形成を考える。グループ討議において、各自のキャリアデザインやキャリア形成を分析することによって、自己の修学意欲を高揚する。</p> <p>4. 修学アドバイザー独自の多様な自由講義・演習を実施する。</p> <p>5. 個人面談において、1年間の生活・修学を振り返り、次期への準備を行う。</p> <p>科目のホームページを必ずみること。http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/ 出席・提出物の締切を守ることにについては、特に厳しく評価する。</p>									
【教科書および参考書・リザーブブック】									
教科書：修学基礎2009[金沢工業大学]									
参考書：指定なし									
リザーブブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実施する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身につける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
学科教育目標 (記号表記)		学生が達成すべき行動目標							
A,B		1週間の行動履歴を作成し、更に今年度の達成度自己評価と次年度以降の展望を口頭および文章で報告することができる。							
A,B		講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
A		自己分析を行い、「キャリアデザイン・シート」を作成できる。							
A		グループ討議を通して問題点を抽出し、自己の見解を口頭および文章で表現することができる。							
A,B		時間を守る、提出物の締切を守る、ルールやマナーを守る、グループ活動で協力する態度を実践することができる。							
A		本科目の教育目標を理解し、本教育目的・目標を実践することができる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポ-ト	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポ-トフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	35	15	0	34	16	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	10	0	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	5	0	5	0	20
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	5	5	0	0	0	10
	発表・表現・伝達する力	0	0	5	5	0	5	0	15
	学習に取り組む姿勢・意欲	0	0	5	0	0	24	16	45

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		課題 「キャリアデザインシート」 20点
	レ	課題 「小論文B訂正」 5点
		課題 「小論文C」 10点
	レ	
	レ	
成果発表 (口頭・実技)		課題 「グループ討議メモ用紙」 8点
	レ	口頭発表 5点 質疑応答 2点
	レ	
	レ	
作品		
ポートフォリオ	レ	「1週間の行動履歴」 2点×8回 教室で授業毎に提出
		「後学期の達成度自己評価」 5点
		「1年間の達成度自己評価」 5点
	レ	
	レ	
その他	レ	定刻出席 2点×8回 遅刻1点減点(5分まで)
	レ	多目的ホールでの授業の遅刻者・欠席者は後日ビデオ視聴
	レ	
	レ	
	レ	

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>「1週間の行動履歴」を記録し、自省することによって、次週への目標を明確にする。</p> <p>グループ活動において、積極的に発言し、グループの意見をまとめることができる。</p> <p>自己分析を通して、自己のキャリアデザインを明確にすることができ、キャリア形成への積極的な態度を身につける。</p> <p>授業には欠かさず出席し、提出物の期限を守るなど、学習に対する積極的な態度が身についている。</p> <p>本科目における「学生が達成すべき行動目標」の達成度を自己評価し、明確に記すことができる。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を記録することができる。</p> <p>他者の意見を聞いてまとめることができる。</p> <p>自己分析を通して、自己のキャリアデザインを描いている。</p> <p>授業に出席し、提出物の期限を守るなどの学習態度が身についている。</p> <p>本科目における学生が達成すべき行動目標を自己評価し、記すことができる。</p>

授業明細表

CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」「修得した内容を表現、発表、伝達する」「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行動ください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1・2 回 /	自己開発センター特別講義（堀岡雅清教授） 「資格取得のすすめ（仮題）」を聴講し、自己のキャリア形成にそくして、自学自習を考える。 【持参物】 筆記用具	多目的ホールにおいて講話を聴講し、メモをとる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日のビデオ聴講とする。 【提出物】 講話の内容（聴講メモ）	課題 「小論文Bの訂正」 課題 「小論文C」（4回目の授業にて提出） 「1週間の行動履歴」を作成する。	60 300 30
3・4 回 /	修学アドバイザーによる自由講義・演習 【持参物】 修学アドバイザーの指示するもの	所属教室での講義・演習 【提出物】 課題 「小論文Bの訂正」 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。 課題 「小論文C」（4回目の授業にて提出）	30
5・6 回 /	キャリアデザインシートの作成（web）入力 キャリアデザインやキャリア形成について講義を行った後、自己を過去、現在にわたって分析し、今後のキャリア形成を考える。 【持参物】 ノートパソコン、LANケーブル、修学基礎2009、修学基礎ワークブック	所属教室での講義・演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	課題 「キャリアデザインシート」を作成（web上）し、プリントアウトしておく。 「1週間の行動履歴」を作成する。 課題 「小論文C」（4回目の授業にて提出）	60 30
7・8 回 /	各自のキャリアデザインをふまえて、グループ討議 各自のキャリアデザインやキャリア形成を討議することによって、自己の将来像を明確するとともに、意欲的な生活・修学を考える。 【持参物】 ノートパソコン、LANケーブル、筆記用具	所属教室での講義・演習 【提出物】 課題 「キャリアデザインシート」 課題 「小論文C」 前週までの「1週間の行動履歴」	発表準備のグループ活動を行い、課題 「グループ討議メモ用紙」を作成する。 「1週間の行動履歴」を作成する。	90 30
9・ 10回 /	各自のキャリアデザインをふまえて、グループ発表・討論 各自のキャリアデザインやキャリア形成を討議することによって、自己の将来像を明確するとともに、意欲的な生活・修学を考える。 【持参物】 ノートパソコン、LANケーブル、筆記用具	所属教室での演習 発表者はパワーポイントを使用し7分間の発表を行う。 【提出物】 課題 「グループ討議メモ用紙」 前週までの「1週間の行動履歴」	前週までの「1週間の行動履歴」 「後学期の達成度自己評価」を作成（web上）する。 「1年間の達成度自己評価」を作成（web上）する。 個人面談に備え、「1年間の自己の評価と今後の展望」を口頭で報告できるように準備する。	30 30 30 30
11・ 12回 /	個人面談を行う。 「1年間の自己の評価と今後の展望」を口頭で報告し、修学アドバイザーからのアドバイスをもらう。	日時・場所などは、担当教員の指示による。 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」 「後学期の達成度自己評価」 「1年間の達成度自己評価」	「1週間の行動履歴」を作成する。 授業アンケートの回答開始	30 30
13・ 14回 /	個人面談を行う。 「1年間の自己の評価と今後の展望」を口頭で報告し、修学アドバイザーからのアドバイスをもらう。	日時・場所などは、担当教員の指示による。 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」 「後学期の達成度自己評価」 「1年間の達成度自己評価」	「1週間の行動履歴」を作成する。 授業アンケートの回答開始	30 30
15・ 16回 /	自己点検授業 出席とレポートなどの提出状況を確認し、各種レポートの返却を受ける。 2年次以降の修学について、修学アドバイザーの指示する学生や希望学生は再個人面談を行う	所属教室での講義・演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。	30